

MITSUBISHI

三菱 **自然冷媒** ヒートポンプ式
電気給湯機

季節別時間帯別電灯/時間帯別電灯(通電制御型)

システム形名

エスアールター エイチビー エス

SRT-HP37N1

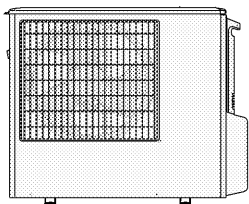
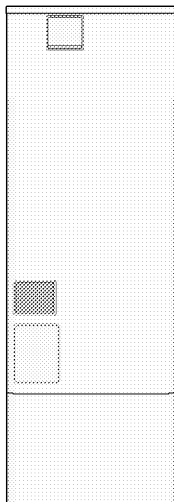
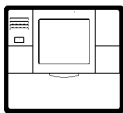
SRT-HP37ND1

SRT-HP46N1

(形名の表示位置:6ページ)

※耐塩害仕様タイプは、システム形名に「BS」が
付きます。耐重塩害仕様タイプは、システム形名
に「BSG」が付きます。

取扱説明書



- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前にこの「取扱説明書」を必ず読み、大切に保管してください。
- お客さまご自身では据付けしないでください。安全や機能の確保ができません。
- 「保証書」「据付工事説明書」「据付工事確認書」は、必ず所定の記載事項を確かめて、据付工事店(販売店)からお受け取りください。給湯機を他に売ったり譲渡されるときなどには、次の所有者の方へ渡してください。
- この商品は日本国内専用です。



* 6 6 C 6 1 8 *

ご使用前に

安全のために必ずお守りください

ご使用の手順

ご使用にあたってのお願い

各部のはたらき

よく使う機能

たくさん お湯を使う(わき増し)

お湯が少なくなったとき

「蛇口・シャワー」の温度を決める

上手な使い方

音声ガイダンスの音量を調節する

タンク内の湯温、お湯の使用量を見る

わき上げモードを設定する

「深夜のみ」のわき上げで使う

数日間わき上げを停止するとき

準備

初めて使う(タンクに水を入れる)

時刻を合わせる

電力契約モードを選ぶ

こんなとき

凍結防止

停電・断水時など

災害などによる断水

長期間使用しない

定期点検(有料)

仕様

お手入れと点検

故障かな?

アフターサービス

2

4

5

6

8

9

10

11

12

13

14

15

16

18

19

20

20

21

22

24

25

26

28

30

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。	注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつきます。
-----------	----------------------------------	-----------	--------------------------------------

■本文中や機器に使われる図記号の意味は次のとおりです。

	禁止		指示に従う		感電注意		高温注意		発火注意		回転物注意
--	----	--	-------	--	------	--	------	--	------	--	-------

やけどを防ぐために!

警告		やけど注意 給湯時は、湯水混合栓に手を触れない
		使いはじめは、湯温を確認する 特に朝の使いはじめは、しばらくお湯に触れないでください。空気の混ざった湯が飛び散ることがあります。
警告		やけど注意 ヒートポンプ配管に手を触れない
		給湯温度を変更するときは、他の蛇口の使用状況を確認する

部品名は各部のはたらき(P.6)をご覧ください。

安全に使用するために

警告		前面カバーや工事用窓を開けない 改造しない <small>分解禁止</small>		近くにガス類や引火物を置かない (ガスボンベからは2m以上離す。)		ヒートポンプユニットの蒸発器のフィンや空気吹出口に手や棒を入れない
	注意		異常(こげ臭いなど)時は、漏電遮断器の電源レバーを下げて電源を「切」にし、お買い上げの販売店または「三菱電機修理窓口」へ連絡する		そのまま飲用しない 長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。 ●必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。 ●熱いお湯が出てくるまでの水(配管にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。 ●固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに、据付工事店(販売店)へ点検を依頼してください。	

機器の点検・お手入れに関する注意

警告		漏電遮断器の動作を確認する P.26!		逃し弁の点検をする(タンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。) P.26 ●点検時は内部の配管に手を触れない ●点検終了後、操作窓は閉じる
		アース工事を確認する (故障や漏電のときに感電することがあります。アースの取付けは、据付工事店(販売店)へお問い合わせください。)		ヒートポンプユニットの架台が傷んだ状態で使用しない (ヒートポンプユニットが落下、転倒し、けがをすることがあります。)
注意		凍結防止対策の確認をする P.20! (タンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。)		床面が防水・排水処理されているか据付工事店(販売店)へ確認する (水漏れが起きたとき大きな損害につながる可能性があります。)
		操作カバー・操作窓・配管カバーは閉じる (雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。)		

長期間使用しないとき、使用を再開するとき

警告		長期間使用しないときは、本書の手順に従って、機器と配管内の水を確実に抜く P.22! ●排水時はお湯に手を触れない ●タンクの熱湯を直接排水しない
注意		初めて使用するときや、使用を再開するときは、本書の手順に従う P.16

ご使用の前に

よく使う機能

上手な使い方

準備

こんなとき

ご使用の前に

よく使う機能

上手な使い方

準備

こんなとき

ご使用の手順

ご使用の前に

よく使う機能

上手な使い方

準備

こんなとき

①必ずお読みください。

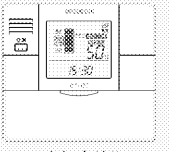
「安全のために必ずお守りください」**▼2**
「ご使用にあたってのお願い」**▼5**

※お使いになる際に、必ず守っていた
いただきたいことが記載してあります。

②リモコンの表示を確認します。

点灯している
そのままご使用できます。(③へ)

「残湯なし」の表示がでている場合は**▼8**を押してください。
約8時間でタンク全体のお湯をわかします。**▼8**



点灯時(例)

消灯している
初めて使う(タンクに水を入
れる)**▼16**に従って
ください。

③お湯を使ってみましょう。

蛇口やシャワーを使う

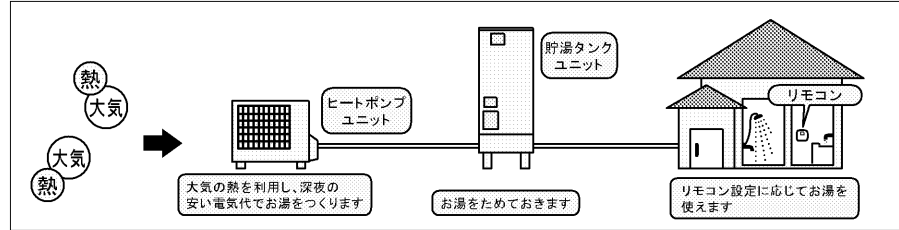
- 蛇口やシャワーの温度を決める **▼10**



④お手入れをします。**▼26**

- 日常のお手入れ(時刻の確認など)
- 年に2~3回のお手入れ

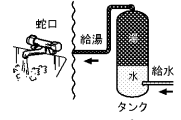
■機器の役割



■給湯機の基本原理

1.自動給水・押し上げ方式です

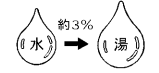
蛇口をひねると、タンク内のお湯は給水圧によって押し上げられ、タンク上部の給湯口より給湯配管を通して自動的に採湯することができます。使用したお湯の分だけの水が、給水口より水道水圧を利用して自動的にタンクに供給されますので、タンク内は常にお湯(水)で満たされています。



2.水は体積膨張します

水がお湯になると必ず体積膨張を起し、約3%増加します。

例えば、370Lの温水器では、約11L分、460Lの温水器では、約14L分増えます。この増えた分を逃す目的で逃し弁が取付けられます。わき上げ中に逃し弁からお湯が少しずつ排水されるのは、故障ではありません。正常な動作なのです。



ご使用にあたってのお願い

ご使用の前に

よく使う機能

上手な使い方

準備

こんなとき

お湯を上手に使う

貯湯式なので1日に使用できるお湯の量は限りがあります。

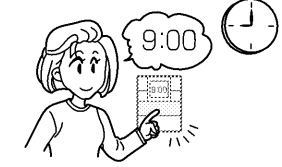
- シャワーは止めながら(髪を洗っているときは止めましょう。)
- 洗いのをするときも止めながら



流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。

リモコンの時刻を確認する

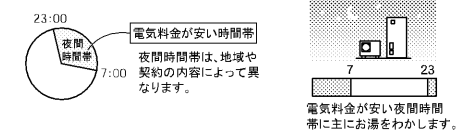
リモコンの時刻がずれた場合は、時刻を合わせ直してください。



時刻がずれていると、電気料金は割高になります。

夜間時間帯のご使用について

この給湯機は主に、夜間時間帯にお湯をわかします。この時間帯にお湯を使うと、昼間にわき増しを行い電気代が高くなる場合があります。



リモコンに水をかけない

- リモコンは防水タイプではありません。水をかけないでください。故障の原因になります。

機器周辺部の点検

- 積雪時は機器の周囲を除雪してください。(誤動作や故障の原因)
- ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げとなるものを置かない。(性能低下や故障の原因)

機器の設置状況などを確認する

以下の場所に設置されている場合は、事故や故障などの原因となります。

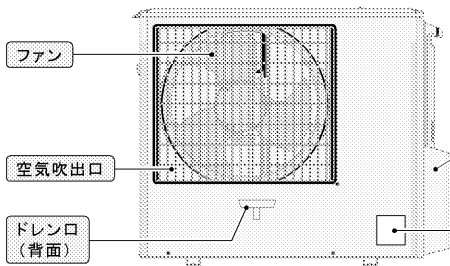
- 最低気温がマイナス10℃以下となる場所
- ヒートポンプユニットの屋内設置
- 水平でない場所、不安定な場所、排水のしにくい場所
- 階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 冠水する可能性のある場所

ヒートポンプユニットは、作動中に運転音がします。運転音や振動が気になる場所(隣家の迷惑になる場所)に設置されている場合は、据付工事店(販売店)へご連絡ください。

各部のはたらき

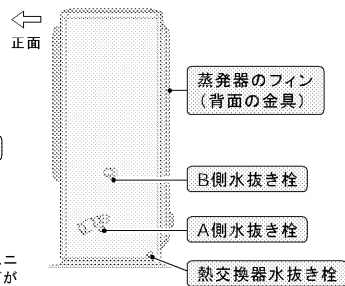
ヒートポンプユニット

大気熱を利用し、お湯をつくります。



運転中はフィンが結露し、ドレン口から少量の水が出る(温度、湿度により変化します。)ことがあります。故障ではありません。

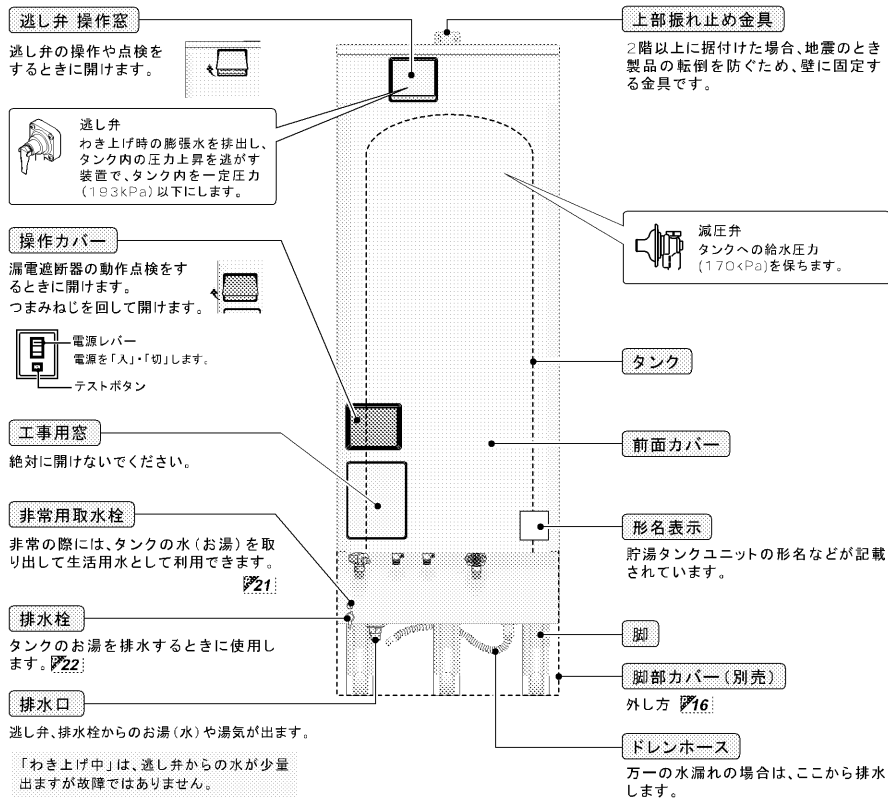
〈配管カバーを外した図〉



ヒートポンプユニットの形名などが記載されています。

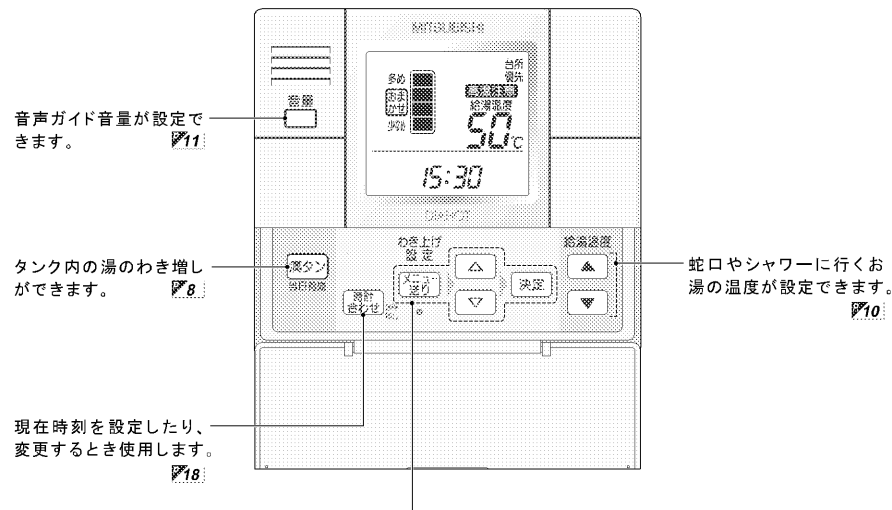
貯湯タンクユニット

お湯をためておきます。



リモコン

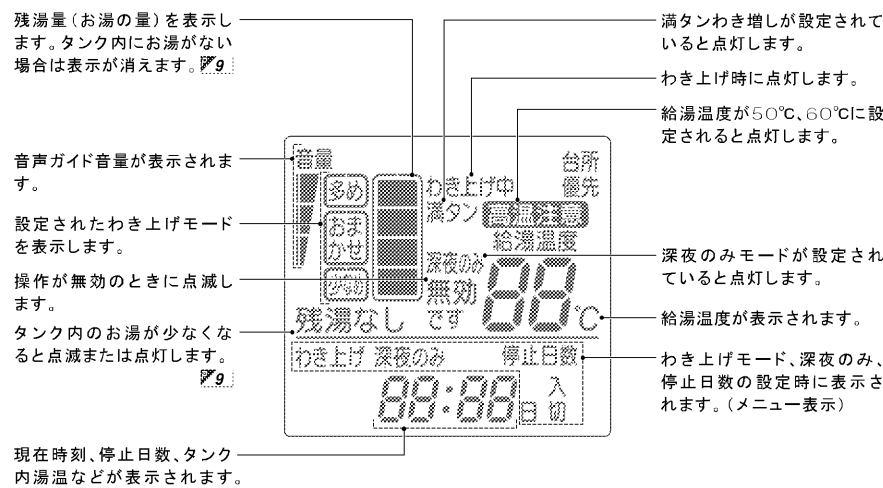
(フタを開けた状態です。)



17 を使って以下の設定、表示ができます。

- | | | |
|--|--|---|
| <p>〔時刻表示〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ① わき上げモード設定 13 ② 深夜のみ設定 14 ③ 停止日数設定 15 | <p>〔時刻表示〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ④ タンク温度表示 12 ⑤ お湯の使用量表示 12 ⑥ 電力契約設定 19 | <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設定を行う項目を通り越した場合再度、17 を押し、始めからやり直してください。 ● ④～⑥項を行うためには、最初に17 の3秒押しが必要です。 |
|--|--|---|

表示部 (説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。)



ご使用の前に

よく使う機能

上手な使い方

準備

こんなとき

ご使用の前に

よく使う機能

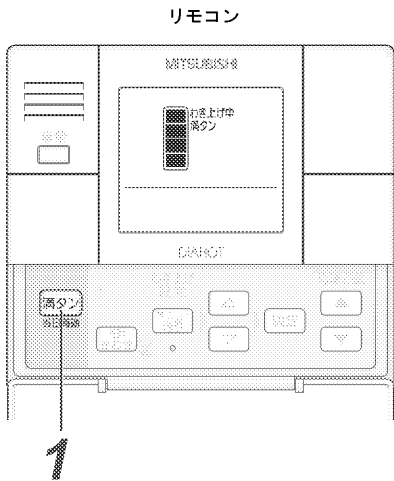
上手な使い方

準備

こんなとき

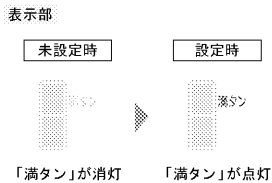
たくさんお湯を使う(わき増し)

お湯がたりなくならないように、減ってきたらそのつどお湯をわき上げる機能です。
 来客などでたくさんのお湯が必要なときに設定してください。



1 「満タン」を押す

表示部に「満タン」が表示されます。



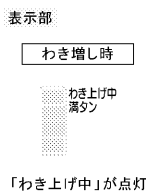
● 解除するときには、もう一度「満タン」スイッチを押します。(満タン表示が消えます。)

2 スイッチを押してから約2秒後、設定が完了します。

● 「設定されました」と音声でお知らせします。

3 お湯が約50L減るとわき増しを開始します。

わき増し中は、表示部に「わき上げ中」が表示されます。

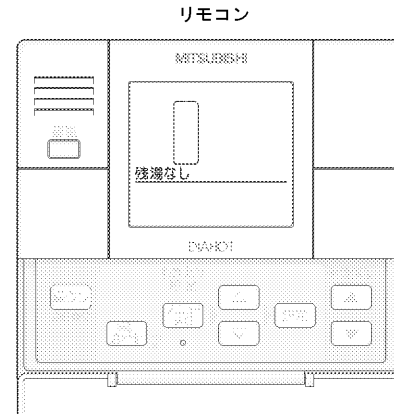


● 残湯量表示が「■」(満タン)のときは、わき上げを行いません。

- お知らせ**
- 満タンわき増しは、一度設定すると、設定したその日(昼間時間帯[※])は何回でもタンク全体のわき増しを行います。夜間時間帯[※]になると自動的に解除されます。
 注 昼間時間帯、夜間時間帯は地域や電力契約の内容によって異なります。
 - わき増しは、昼間電力でタンク内をわき上げるので電気料金は割高になります。
 - わき増しの場合も、「わき上げモードを設定する」で設定した温度にわき上げます。(P13)
 - 「深夜のみ」モード設定時でもわき増しを行えます。

お湯が少なくなったとき

タンク内の残湯量(45℃以上の お湯の量)をリモコンに表示します。
 お湯が少なくなったときは、リモコンに「残湯なし」が表示されますので、満タンわき増し(P8)を使用してください。



残湯量表示						残湯なし 点滅	残湯なし 点灯	残湯なし 点灯	
お湯の量	460L 機種	410L以上 (ほぼ満タン)	270L以上 410L未満	150L以上 270L未満	50L以上 150L未満	50L未満	残湯なし (湯切れ)	50L未満	50L以上 150L未満
お湯の増減	370L 機種	320L以上 (ほぼ満タン)	240L以上 320L未満	150L以上 240L未満	50L以上 150L未満	50L未満	残湯なし (湯切れ)	50L未満	50L以上 150L未満

- お知らせ**
- 残湯量表示の「■」は45℃以上のお湯を表しています。
 - 自然放熱などで、タンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても表示が変わることがあります。

ご使用の前に

よく使う機能

上手な使い方

準備

こんなとき

ご使用の前に

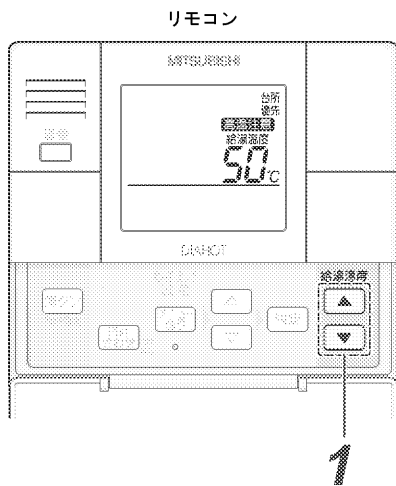
よく使う機能

上手な使い方

準備

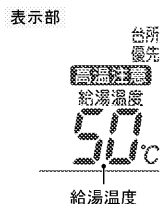
こんなとき

「蛇口・シャワー」の温度を決める



1 給湯温度設定スイッチの 温度を設定する

- ▲ または ▼ を押して
- ▲ を押すと温度が高くなります。
- ▼ を押すと温度が低くなります。



- 設定できる温度は、3.5°C～48°C（1°C刻み）／50°C／60°Cです。
- 給湯温度を50°Cまたは60°Cに設定した場合、リモコンに「高温注意」が表示されます。（60°Cに設定した場合は警告音も鳴ります。）

2 約2秒後、設定が完了します。

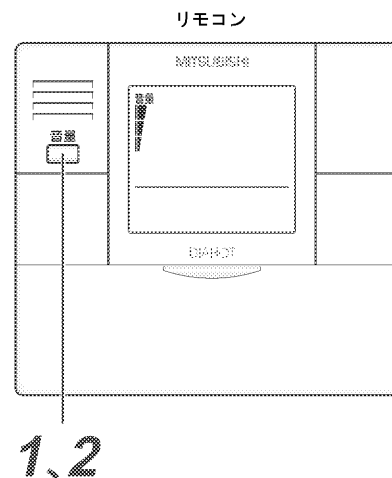
- 「給湯温度が変更されました」と音声でお知らせします。

お知らせ

- わき上げモードが「少なめ」の場合、タンク内の湯温によっては、設定より低い温度のお湯が出る場合があります。
- 給湯口から出るお湯は、配管部分の放熱によって低くなる場合があります。
- サーモスタート付湯水混合栓の場合は、給湯温度設定を使用するお湯の温度より10°C以上高くしてください。また、シャワー出湯量が少ない場合は、給湯温度設定を60°Cにし、水と混ぜてご使用ください。

音声ガイダンスの音量を調節する

リモコンの音声ガイダンス（操作を音声でガイドする機能）の音量を変えたり、切ることができます。

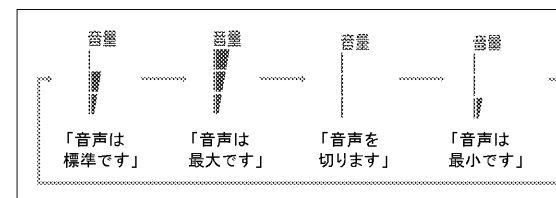


1 音量を押し

現在設定されている声の大きさをお知らせします。

2 音量確認（手順1）後、10秒以内に 音量を押し

押すごとに、声の大きさをお知らせします。

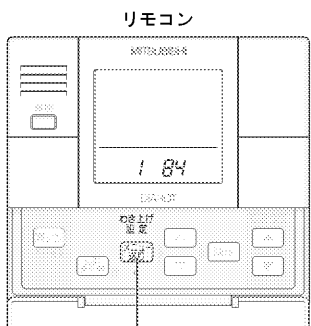


- 通話をしていないときに行ってください。通話中に音量スイッチを押すと、通話音量の変更となります。
- 工場出荷時は「標準」に設定されています。

- 切（「音声を切ります」）にしても、音量調節を知らせる音声やスイッチ操作音、警告音は消えません。

タンク内の湯温、お湯の使用量を見る

貯湯タンクユニットのタンク内上部の温度を表示させることができます。
また、お湯の使用量（昨日の給湯使用量、過去1週間の1日あたりの平均使用湯量）を調べることもできます。（お湯の使用量は、毎朝 夜間時間帯終了後に更新）



1, 2

1 [メニュー送り] を3秒以上押す

タンク内の湯温表示になります。

表示部



タンク内湯温 (表示例: 84℃)

- 時計表示に戻すときは [戻る] を5回押してください。
- [戻る] を押さなくても約60秒後、時計表示に戻ります。

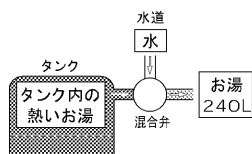
2 [メニュー送り] を押すごとに

「昨日の給湯使用量」→「過去1週間の1日あたりの平均使用湯量」→「電力契約モード」→「時刻表示」と表示がかわります。

機能	表示例	表示の意味
現在のタンク内湯温	84 機能番号 ①	現在のタンク内の湯温を表示します。 ①84 (℃)
昨日の給湯使用量	24 機能番号 ②	昨日の給湯使用量(エネルギー)を43℃の給湯量で表示します。表示された数字に1. をかけた数値が使用量(L)の目安です。 ②240 (L)
-	3 --	使用しません。
過去1週間の1日あたりの平均使用湯量	4 50 機能番号 ③	過去1週間、給湯・追いだし・自動保温で使用した給湯使用量(エネルギー)の1日の平均値を43℃の給湯量で表示します。表示された数字に1.0をかけた数値が使用量(L)の目安です。 ③500 (L)
電力契約モード	EP 01	P19 参照

お湯

- 表示されるお湯の使用量は、タンク内のお湯の使用量と異なります。例えば、昨日の給湯使用量表示が「24(240L)」の場合、タンク内の熱いお湯と水を混ぜて240L使用したことを表しています。



お知らせ

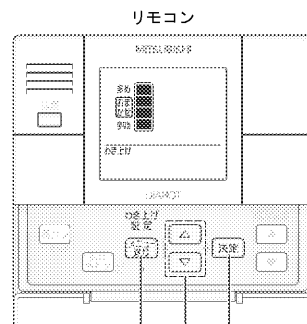
- わき上げ温度はヒートポンプユニットでわき上げるお湯の温度です。途中の配管の放熱などにより、タンクにたまるお湯の温度は、わき上げ温度よりも低くなります。（ヒートポンプ配管が、断熱材20mm、外気温マイナス7℃、15m配管の場合、配管での放熱ロスによる温度低下は約5℃です。外気温、湿度等の条件、各部の放熱ロスを含めると、この条件でタンクに貯まるお湯の温度は、わき上げ温度よりも約10℃低下することがあります。）
- タンク内の湯温は、放熱によって時間の経過とともに少しずつ低下しますので、わき上げ温度よりも低く表示されることがあります。（通常、温度の低下は、1時間に約1℃ですが、外気温によってはそれ以上低下することがあります。）
- わき上げ中は、タンク内の湯温表示が変動することがあります。

わき上げモードを設定する

給湯機のわき上げ動作を決めるためのモードです。使い始めは、湯切れ防止のため「おまかせ」に、特に使用量が多いと思われる場合は、「多め」に設定することをおすすめします。

表示(モード)	わき上げ温度の目安	わき上げ動作内容	注意点
多め	約80~90℃	●最高のわき上げ温度でわき上げを行います。来客などでお湯をたくさん使用することが予測される場合は、前日に設定しておくことをおすすめします。	●お湯が少なくなると、昼間時間帯でも湯切れ防止のため自動的にわき上げを行います。
おまかせ	約65~90℃	●季節や過去の使用湯量を学習し、わき上げ温度を適切に設定してわき上げを行います。	●タンク全量をわき上げないことがあります。（学習によりわき上げ量を最小限に調整するためです。）
少なめ	約65~80℃	●過去の使用湯量を学習し、最小限のわき上げを夜間時間帯に行います。	●お湯が少なくなると、昼間時間帯でも湯切れ防止のため自動的にわき上げを行います。 ●わき上げ温度が低い場合、給湯温度設定に制限が発生することがあります。

注.運転モードを「深夜のみ」でご使用の場合、お湯が少なくなっても昼間時間帯の自動わき上げを行いません。P14 ヒートポンプユニットのわき上げ温度は最高90℃ですが、配管の施工条件（長さ・断熱など）と外気温によって、タンク内の湯温はわき上げ温度から下がります。



1 2 3

1 [メニュー送り] を押す

メニューに「わき上げ」が表示されます。設定されているモードの 枠が点滅します。

表示部

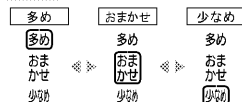


- 工場出荷時は、「おまかせ」に設定されています。

2 [上] または [下] を押して

モードを選ぶ 枠が移動します。

表示部



3 [決定] を押す

設定完了です。表示部は時刻表示に戻ります。

- 「設定されました」と音声でお知らせします。
- [戻る] を押しても設定が完了します。（表示が次のメニュー表示となります。）
- 手順2で、60秒以上スイッチ操作がない場合は、表示されているモードで設定されます。

お知らせ ●「おまかせ」、「少なめ」の場合、タンク内の残湯量が多い場合、タンク内の湯温が低くなる場合があります。

ご使用の前に

よく使う機能

上手な使い方

準備

こんなとき

ご使用の前に

よく使う機能

上手な使い方

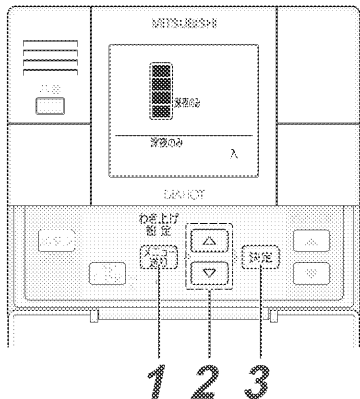
準備

こんなとき

「深夜のみ」のわき上げで使う

「深夜のみ」とは、わき上げを行う時間帯を夜間時間帯のみにするモード設定です。昼間時間帯のわき上げをとめたい時に設定します。

リモコン



モード	表示	動作内容と注意点
通常モード		過去の使用湯量からお湯がたりないと予想される場合には、湯切れ防止のため、昼間時間帯にも自動でわき増しを行います。深夜のみモードに比べ、昼間時間帯でもわき増しを行うため、電気代が高めになることがあります。
深夜のみモード		電気代の安い夜間時間帯のみわき上げるモードです。ただし、夜間時間帯にわき上げた湯量以上のお湯を昼間使うと、タンク内のお湯がなくなり、リモコンに「残湯なし」が表示されたり、お湯が使えなくなったりします。

ご使用の前に

よく使う機能

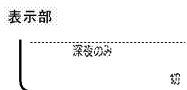
上手な使い方

準備

こんなとき

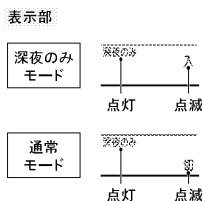
1 メニュー送りを2回押す

メニューに「深夜のみ」が表示されます。



2 上または下を押してモードを選ぶ

上を押すと「入(深夜のみモード)」になります。
下を押すと「切(通常モード)」になります。



3 決定を押す

設定完了です。表示部は時刻表示に戻ります。

- 「設定されました」または「解除されました」と音声でお知らせします。
- 決定を押しても設定が完了しません。(表示が次のメニュー表示となります。)
- 手順2で、60秒以上スイッチ操作がない場合は、表示されているモードで設定されます。

お願い

- 万一、湯切れした場合は、満タンわき増しをご利用ください。(P.8)
- 「深夜のみモード」を設定する場合の目安
「通常モード」でご使用いただき、お湯がいつもあまるなど、使用量が少ない場合(残湯量表示部に「残湯なし」が表示(点滅または点灯)されない場合)がご使用の目安です。「残湯なし」が表示される場合は、「通常モード」でご使用ください。
※上記の内容は目安ですので、深夜のみモードで使用して湯切れする場合は通常モードで使用してください。

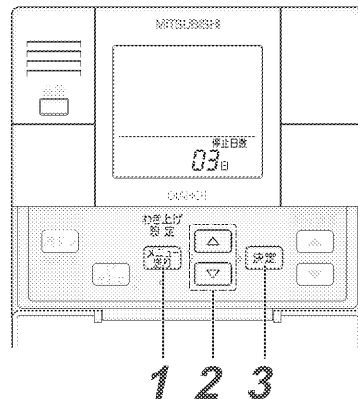
お知らせ

- 深夜のみモードを設定していても、外気温度が低い時は、凍結防止のため、昼間でもヒートポンプユニットが動作することがあります。

数日間わき上げを停止するとき

旅行などで数日間お湯を使用しないときに、指定した日数のあいだ給湯機のわき上げを停止させ、電気代を節約することができます。

リモコン



わき上げ停止日数の決めかた

例) 10月1日に出発し、10月4日に帰宅する
3泊4日の旅行の場合

- 出発日(1日)に設定する場合は、停止日数「03」を設定します。1日、2日、3日の昼間の使用を止めるので「03」を設定します。帰宅日には、朝からお湯が使用できます。
- 出発日の前日に設定する場合は、停止日数「04」を設定します。帰宅日には、朝からお湯が使用できますが、出発日にはお湯を使用できません。

〈予定日より早く帰宅した場合〉

まずは停止日数を解除してください。翌朝からお湯が使用できるようになります。その日にお湯を使用するときは、満タンわき増しを使用してください。

ご使用の前に

よく使う機能

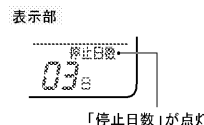
上手な使い方

準備

こんなとき

1 メニュー送りを3回押す

メニューに「停止日数」が表示されます。



2 上または下を押して停止日数を決める

上を押すと日数が進みます。
下を押すと日数が戻ります。
(押し続けると、表示が連続してかわります。)

表示	停止日数
--日	連続停止
15日	15日
2日	2日
00日	解除

- 連続停止(--)を設定した場合、解除するまでわき上げを行いません。

3 決定を押す

設定完了です。表示部は時刻表示に戻ります。

- 「設定されました」または「解除されました」と音声でお知らせします。
- 決定を押しても設定が完了しません。(表示が時刻表示となります。)
- 手順2で、60秒以上スイッチ操作がない場合は、表示されている日数で設定されます。

お知らせ

- 運転停止中でも配管凍結予防のため、ヒートポンプユニットの運転を行うことがあります。
- 停止日数の表示は、1日ごとに減っていきます。連続停止(--)が表示されているときは、表示は変わりません。
- 停止期間中に、満タンわき増し、現在時刻の設定を行うと自動解除されます。
- 長期間(1カ月以上)使用しないときは、P.22の手順に従ってください。

初めて使う(タンクに水を入れる)

タンクの水抜きを行なった場合、下記の手順で給湯機の使用を再開します。
 またタンクの水抜きをせずに1カ月以上お湯を使用しなかった場合は、P22に従い、いったんタンクの水抜きをしてから次の手順を行なってください。
 必ず、手順通りに行なってください。わき上げできない場合やエラーが表示されることがあります。
 ※給湯機を初めてご使用になる場合など、方法がわからないときは、据付工事店(販売店)へご相談ください。

- 製品形名に「D」の付くタイプは、貯湯タンクユニットを初期状態にしてから(右記手順)、以下の手順を行なってください。
- (1) 200V電源ブレーカーを「入」にする
 - (2) 漏電遮断器の電源レバーを「切」にする
 - (3) 漏電遮断器の電源レバーを約30秒間「入」にしたあと、再び「切」にする
 - (4) 200V電源ブレーカーを「切」にする

1. 以下のことを確認する

(1) 貯湯タンクユニットの漏電遮断器が「切」になっていることを確認し、「入」になっている場合は「切」にする

電源レバーを「切」にする
漏電遮断器

(2) ヒートポンプユニットの配管カバーを開け、水抜き栓(3カ所)が閉じていることを確認する(開いている場合はすべて閉じてください。)

日側水抜き栓
A側水抜き栓
熱交換器水抜き栓

(3) 貯湯タンクユニットの排水栓、水抜き栓(4カ所)が閉じていることを確認する(開いている場合はすべて閉じてください。)

排水栓
水抜き栓

● 脚部カバーがついている場合は、脚部カバーの前面カバーを外してください。

(4) すべての蛇口(湯水混合栓)が閉じていることを確認する

閉

(配管カバーの外し方)
 (1) ねじ(1本)を外す
 (2) 配管カバーを下方にずらしてツメを外し、手前に引く

配管カバー
ツメ(6箇所)
ねじ(1本)
取り外し時 →
取り付け時 ←

(脚部カバーの外し方)
 (1) つまみねじをゆるめ、手前に引く

つまみねじ
脚部カバー

2. 機器(貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニット)を満水にする

(1) 貯湯タンクユニットの逃し弁のレバーを上げる

上げる

(2) 給水配管専用止水栓を開き、貯湯タンクユニットへ給水する

開く

(3) 貯湯タンクユニットが満水になったら、逃し弁のレバーを下げる

下げる

● タンクが満水になると排水口から水がでます。(満水までの目安 約30分)

注意
 機器(貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニット)を満水にしてから電源を入れる(故障の原因)

- タンクが満水になるまで蛇口(湯水混合栓)は開けないでください。流量センサーの故障の原因となります。
- 給水配管専用止水栓は閉じないでください。
- 給水中は排水口から少量の水が出ますが故障ではありません。

3. 機器(貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニット)の空気を抜く

(1) 蛇口(湯水混合栓)のお湯側を開き(1カ所)、空気が混ざらなくなったら閉じる

(2) ヒートポンプユニットの水抜き栓(3カ所)を開く
 ● A側水抜き栓→熱交換器水抜き栓→B側水抜き栓の順に開き、空気が混ざらなくなったら閉じてください。

<順序>
 ① A側水抜き栓
 ↓
 ② 熱交換器水抜き栓
 ↓
 ③ B側水抜き栓

① A側水抜き栓
② 熱交換器水抜き栓
③ B側水抜き栓

開く 閉じる

4. 電源を入れる

(1) 200V電源ブレーカーを「入」にする

(2) 貯湯タンクユニットの漏電遮断器の電源レバーを「入」にする

電源レバーを「入」にする
漏電遮断器

● 電源を入れると、屋間でもすぐにわき上げを開始します。(リモコンの残湯量表示は右図参照)

● 「深夜のみ」モード(P14)が設定されていると、屋間にはわき上げを行いません。夜間時間帯になるとわき上げを行います。すぐにわき上げを行うときは、手順7終了後、満タンスイッチを押してください。

5. ヒートポンプ配管の空気を抜く(強制運転)

リモコンの「」スイッチと「」スイッチを同時に3秒以上押し

- 強制運転はヒートポンプ配管内の水を強制的に循環させるものでわき上げは行いません。
- 強制運転中はリモコンの表示部に「Air」が表示されます。
- 強制運転は約20分で終了しますので必ず終了するまで行ってください。途中で終了する場合はもう一度リモコンの「」スイッチと「」スイッチを同時に3秒以上押ししてください。
- 停止日数が設定されているときは、強制運転を行いません。

6. タンク内の空気を抜く 7. 時刻を確認する P18

逃し弁のレバーを上げ、排水口から勢よく水が出たら閉じる

上げる

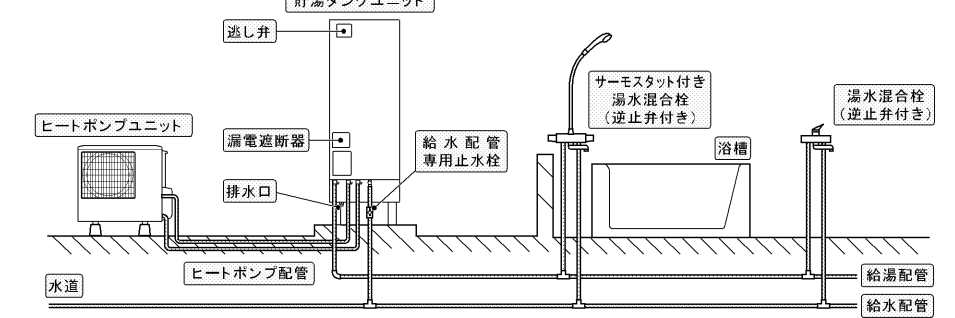
その他の設定(給湯温度など)も工場出荷時状態に戻っていることがありますので確認してください。

8. お湯を使う

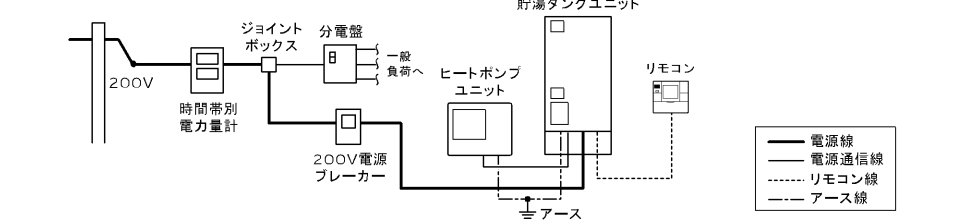
約8時間で満タンまでわき上がります。やけど防止のため、湯水混合栓の温度調節つまみを「低」側にしてから給湯つまみを開き、適温に調整してお湯を使用します。

警告
 使いはじめは、やけどに注意する
 特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。

■ 配管例



■ 配線例(時間帯別電灯契約専用)



ご使用の前に

ご使用の前に

よく使う機能

よく使う機能

上手な使い方

上手な使い方

準備

準備

こんなとき

こんなとき

時刻を合わせる

リモコンの時刻を正確な時刻に合わせてください。

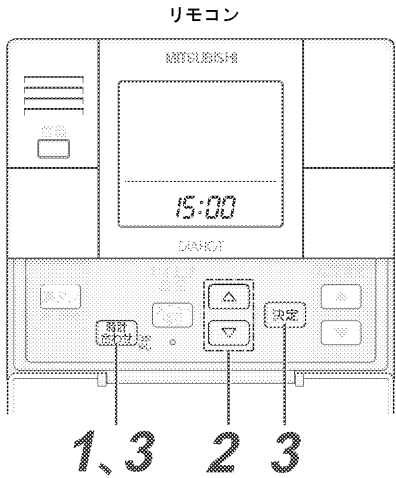
ご使用の前に

よく使う機能

上手な使い方

準備

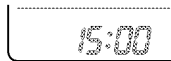
こんなとき



1 時刻合わせを3秒以上押す

表示部の数字が点滅します。

表示部



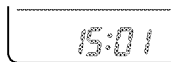
例) 午後3時

- 時刻は24時間表示です。昼の12時の場合は「12:00」を、夜の12時の場合は「0:00」を表示します。

2 時刻を合わせる

△ または ▽ を押すと1分ずつ、数字が変わります。
(押し続けると、早く変わります。)

表示部



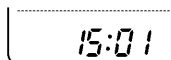
例) 午後3時1分

- 表示部の時刻が点滅中に行なってください。

3 決定 または 時刻合わせを押す

設定完了です。数字が点灯します。

表示部



- 設定が完了すると、「設定されました。」と音声でお知らせします。
- 約60秒間経過すると [時刻合わせ] を押さなくても時刻設定が完了します。

お願い

- 時計の時刻は停電などにより若干変動します。時刻が進んだ場合や遅れた場合は、時刻を合わせ直してください。
- 表示部に「00:00」が点滅している場合は、上記手順2からの操作を行なって時刻を合わせてください。わき上げできません。

電力契約モードを選ぶ

時間帯別電灯契約の種類によって、夜間時間帯や安価な時間帯が異なります。電気料金を抑えるため、必ずご使用の契約に合う電力契約モードを選んでください。契約している電力制度の内容については、各電力会社にお問い合わせください。

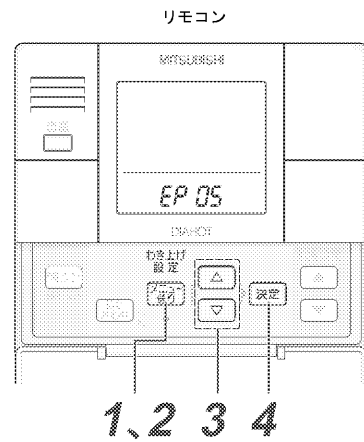
ご使用の前に

よく使う機能

上手な使い方

準備

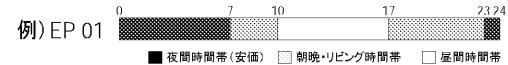
こんなとき



電力契約モードの内容(平成18年6月現在)

表示	適用電力制度
EP 01	● 東京電力:電化上手 ● 関西電力:はびeタイム ● 沖縄電力:ららいふ
EP 02	● 中部電力:ライフプラン
EP 03	● 中国電力:ファミリータイム
EP 04	● 北陸電力:エルフナイト10プラス ● 九州電力:電化deナイト
EP 05	● 東北電力:やりくりナイト8 ● 東京電力:おトクなナイト8 ● 北陸電力:エルフナイト8 ● 中部電力:タイムプラン ● 関西電力:時間帯別電灯 ● 四国電力:電化deナイト、得トクナイト ● 九州電力:時間帯別電灯 ● 沖縄電力:時間帯別電灯
EP 06	● 東北電力:やりくりナイト10、やりくりナイトS ● 東京電力:おトクなナイト10 ● 北陸電力:エルフナイト10 ● 九州電力:よかナイト10
EP 07	● 中国電力:エコモニター
EP 08	● 北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ(夜間時間帯22時~6時)
EP 09	● 北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ(夜間時間帯23時~7時)
EP 10	● 北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ(夜間時間帯24時~8時)

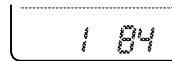
時間帯例



1 電力契約モード設定を3秒以上押す

「現在のタンク温度」が表示されます。

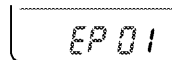
表示部



2 電力契約モード設定を4回押す

「現在のタンク温度」が表示中に電力契約モード表示になります。

表示部



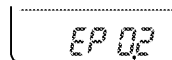
例) 電力契約モード 01

- 工場出荷時は、「EP 01」に設定されています。

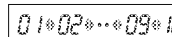
3 決定 または 時刻合わせを押して電力契約モードを選ぶ

△ ▽ を押すごとに表示が切り替わります。

表示部



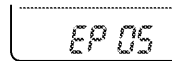
表示が切り替わります。



4 決定を押す

設定完了です。表示部は時刻表示に戻ります。

表示部



例) 電力契約モード 05

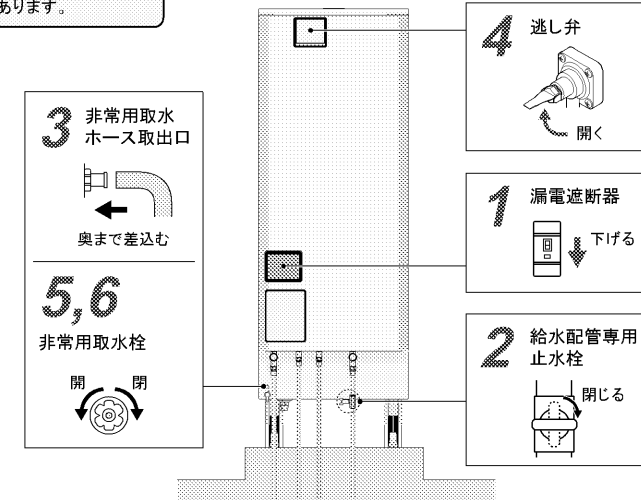
- 「設定されました」と音声でお知らせします。表示部は時刻表示に戻ります。
- 手順4で60秒以上スイッチ操作がない場合は、表示されている電力契約モードで設定されます。

災害などによる断水

タンクの水(お湯)を生活用水として利用できます。
非常用取水ホースは取扱説明書に同梱されています。

警告

取水時は、やけどに注意する
取水中、急に熱湯(最高90℃)が
出る場合があります。



- 1 貯湯タンクユニットの漏電遮断器の電源レバーを「切」にする
電気の供給を停止します。
 - 2 給水配管専用止水栓を閉じる
貯湯タンクユニットへの給水を止めます。
 - 3 非常用取水ホースを取出口に取り付ける
 - 4 貯湯タンクユニットの逃し弁のレバーを上げる
タンクへ空気を取り入れます。
 - 5 非常用取水栓を開く
タンクの水(お湯)を取り出します。バケツなどで受けます。
- 〈取水が終わったら〉
- 6 非常用取水栓を閉じる

お願い

- 再び使用するときは、逃し弁のレバーを下げ、非常用取水栓が閉じていることを確認してから、初めて使う(16)を行なってください。
- 貯湯タンクユニットに脚部カバーがついている場合は、脚部カバーの前面カバーを外してから行なってください。(脚部カバーの外し方 22)

ご使用の前に

よく使う機能

上手な使い方

準備

こんなとき

凍結防止

寒い季節になったら、凍結防止処置(凍結防止ヒーターのプラグを入れる)が行われているか、必ず確認してください。各配管に保温工事がしてあっても、冬期は本体周囲温度が0℃以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損したり、リモコンにエラーが表示されたりすることがあります。(寒冷地だけでなく暖かい地域でも凍結することがあります。)据付工事店(販売店)へ相談し適切な凍結防止対策をしてください。

注意

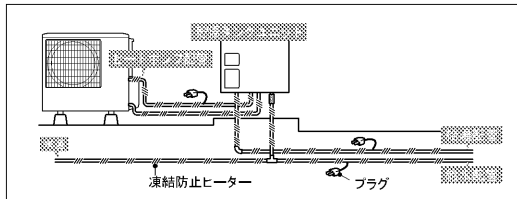
- 凍結防止処置の確認をする
凍結するとタンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。

お知らせ

- 貯湯タンクユニットとヒートポンプユニット用の凍結予防のため、タンク内にお湯がない場合、ヒートポンプユニットを動作させて凍結防止運転を行います。(運転停止日数が設定されている場合や運転モードが「深夜のみ」に設定されている場合でも、凍結防止のため動作することがあります。)

■凍結防止ヒーター(市販品)を使う

凍結防止ヒーターが図のように巻かれているか確認します。使用するときは、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。凍結しない季節はコンセントからプラグを抜いておきます。



お願い

- 配管が凍結した場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください。

停電・断水時など

■停電したとき

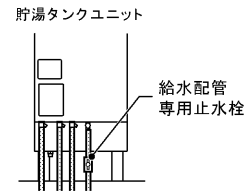
この給湯機はメモリ機能がついていますのでお客さまが設定した「時刻」や「わき上げ温度」などは記憶されています。ただし、時刻がずれることがありますので、必ず時刻を合わせ直してください。

- 停電終了後、リモコンの設定は、停電前の設定に戻ります。
- わき上げ中に停電した場合は、停電終了後にわき上げを行います。

お願い ● 正確な時刻に合わせていないと、電気料金が割高になる場合があります。

■断水したとき

- ①断水したときや近くで水道工事が行われるときは、給水配管専用止水栓を閉じてください。(閉じると給湯機からのお湯が止まります。)閉じないでそのまま使用すると、濁った水で貯湯タンクユニットのストレーナー部が目詰まりし、湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。
- ②工事が終了したら、蛇口の水側を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、給水配管専用止水栓を開いて使用を再開してください。



■給湯をとめるとき

湯水混合栓のバッキンの交換などで、給湯機からの給湯をとめるときは、水道の元栓と給水配管専用止水栓を閉じてください。

お願い ● バッキン交換などの作業を行う場合、一度、蛇口を開き、お湯が出なくなったことを確認してから作業を行なってください。

ご使用の前に

よく使う機能

上手な使い方

準備

こんなとき

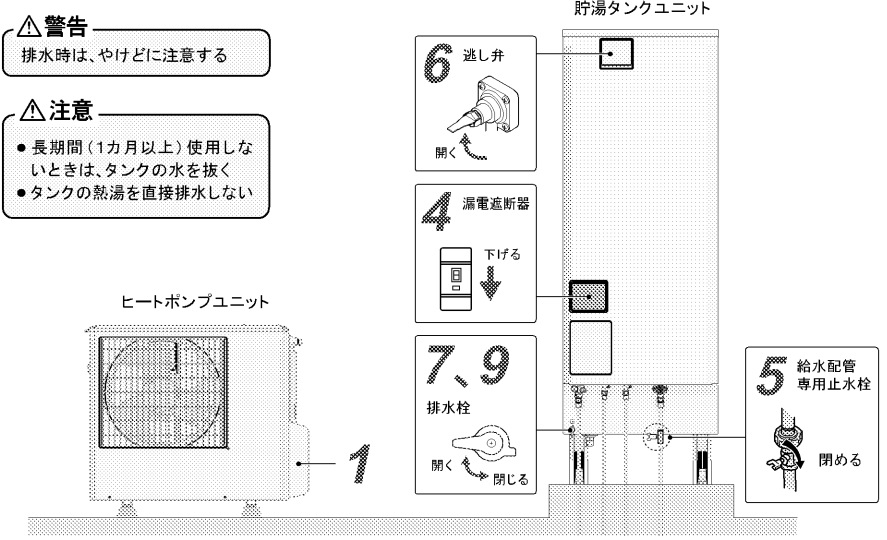
- 1 ヒートポンプユニットの配管カバーを外す
(貯湯タンクユニットに脚部カバーがついている場合は脚部カバーの前面カバーも外す)
- 2 前日から準備できる(タンクのお湯を抜くことができる)場合、わき上げ停止日数を「2日」に設定し、わき上げを停止する
 - あらかじめ前日に設定しておけば、ムダにお湯をわき上げるものがなくなります。
- 3 タンク内のお湯を水にするために、湯水混合栓(例えば台所など)を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出す
 - 熱いお湯が出なくなったら、湯水混合栓を閉じてください。
- 4 貯湯タンクユニットの漏電遮断器の電源レバーを「切」にする
- 5 給水配管専用止水栓を閉じる
貯湯タンクユニットへの給水を止めます。
- 6 貯湯タンクユニットの逃し弁のレバーを上げる
タンクへ空気を取り入れます。
- 7 貯湯タンクユニットの排水栓を開く
タンクの水(お湯)を抜きます。
水が抜けるまでに約1時間かかります。
 - 排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。
- 8 タンクの排水が終わったら、機器の水抜き(図に示す各ユニットの水抜き栓を開く)をする
配管の水(お湯)を抜きます。容器などで受けて排水します。
- 9 手順8(各ユニットの水抜き栓を開く)完了後、1時間程度放置してから、水抜き栓、排水栓を閉じる

お願い

- 排水直後に逃し弁を閉じないでください。タンクが負圧になり破損の原因となります。(逃し弁は再び使用する時まで閉じないでください。)
- 再び使用するときは、排水栓、水抜き栓が閉じていることを確認してから、初めて使う(26)を行ってください。

長期間使用しない

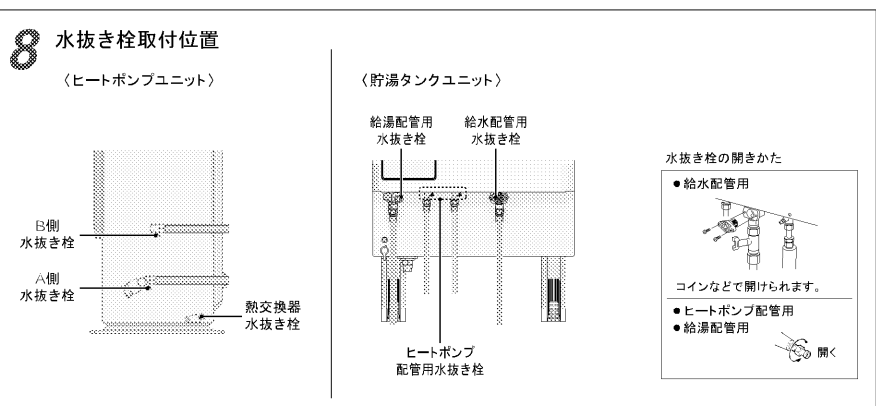
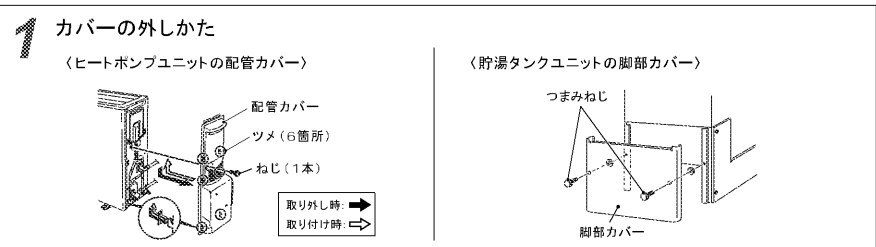
長期間(1か月以上)使用しないときは、運転を止め貯湯タンクユニット、ヒートポンプユニットの水を抜きます。また、凍結による不具合防止のため、給湯機の通電を行わないときは、下記要領で水抜きを行ってください。水抜きを行わないと凍結により機器が破損することがあります。



警告
排水時は、やけどに注意する

注意

- 長期間(1か月以上)使用しないときは、タンクの水を抜く
- タンクの熱湯を直接排水しない



定期点検（有料）

給湯機を少しでも長くお使いいただくために、3～4年に1度定期点検（有料）を行なってください。
 定期点検については、据付工事店（販売店）または「三菱電機 修理窓口」へご相談ください。
 点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

■定期点検の主な内容

項目	内容
据付状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（減圧弁、逃し弁）などの点検および消耗部品の交換
清掃	タンク内の清掃（沈殿物の除去など）、貯湯タンクユニットのストレーナーやヒートポンプ配管用ストレーナーの掃除

■消耗部品

- 減圧弁 ●逃し弁 ●パッキン類 ●混合弁 ●バイパス弁 ●センサー類

お願い ●上記部品の交換時は、当社純正部品をご指定ください。

ご使用の前に

よく使う機能

上手な使い方

準備

こんなとき

仕様

形名	一般地	システム	SRT-HP37N1	SRT-HP37ND1	SRT-HP46N1
		ヒートポンプユニット	SRT-HPU45A1	SRT-HPU45A1	SRT-HPU60A1
		貯湯タンクユニット	SRT-HPT37N1	SRT-HPT37ND1	SRT-HPT46N1
適用電力制度		季節別時間常別電灯/時間常別電灯（通電制御型）			
種類（設置場所）		屋外型（貯湯タンクユニットのみ屋内設置可）			
タンク容量		0.37m ³ (370L)		0.46m ³ (460L)	
定格電圧（周波数）		単相 200V (50/60Hz)			
ヒートポンプユニット	定格加熱能力/消費電力 ※2 ※3	4.5kW/0.915kW		6.0kW/1.22kW	
	夏期加熱能力/消費電力 ※2 ※4	4.5kW/0.89kW		4.5kW/0.89kW	
	冬期高温加熱能力/消費電力 ※1 ※2 ※5	4.5kW/1.50kW		6.0kW/1.78kW	
消費電力	凍結防止ヒーター	0.048kW			
	制御用	0.020kW			
最大電流		16A		17A	
わき上げ温度		約65°C～約90°C			
寸法	ヒートポンプユニット（高さ×幅×奥行き）	732mm × 800 (+80※) mm × 285 (+23) mm		※配管カバー寸法	
	貯湯タンクユニット（高さ×幅×奥行き）	1830 × 630 × 760mm		2170 × 630 × 760mm	
質量	ヒートポンプユニット	約69kg			
	貯湯タンクユニット	約65kg（満水時約435kg）		約75kg（満水時約535kg）	
運転音 ※6		38dB		40dB	
水側最高使用圧力		193kPa（逃し弁設定値）			
冷媒名（封入量）		CO ₂ (1.2kg)			
安全装置		漏電遮断器、缶体保護弁	漏電遮断器、缶体保護弁、自動止水弁	漏電遮断器、缶体保護弁	
リモコン		RMC-N1（外形寸法：縦 130mm 横 145mm 厚さ 21.5mm）			

※1 低気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。
 ※2 おき上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
 ※3 作動条件 外気温（乾球温度/湿球温度）16°C/12°C、水温17°C、おき上げ温度65°C
 ※4 作動条件 外気温（乾球温度/湿球温度）25°C/21°C、水温24°C、おき上げ温度65°C
 ※5 作動条件 外気温（乾球温度/湿球温度）7°C/6°C、水温9°C、おき上げ温度30°C
 ※6 定格音圧下での測定（JISのルームエアコンディショナに準じ測定）。
 運転音は、実際に投入付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反射を受け、表示値より大きくなります。

※3、4、5、6について
 ●外気温：理科年表、月別平均気温・湿度（1961年から1990年までの平均値）
 ●水 温：（社）ソーラーステム振興協会「ソーラーステムの設計基準に
 関する調査研究」（昭和57年5月）
 ●いずれも東京・大阪の季節別環境条件です。

製品形名に「D」の付くタイプには、万一、貯湯タンクユニット内で水漏れが起こった時、貯湯タンクユニットへの給水を自動的に止めて水漏れによる被害拡大を抑制する機能があります。（タンク内に貯まっているお湯（水）までストップするものではありません。）
 また、形名に「BS」「BSG」の付くタイプは、塩害地へ設置できる構造となっています。

- この給湯機は、申請によって通電制御型として電気料金の割引きが適用されます。適用を受けるため、必ず、据付工事店（販売店）に依頼するか、お客さまご自身で電力会社に申請を行なってください。（買い替え時などで機種変更した場合でも、電力会社へ申請が必要です。）
- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。自家浄水システム等をご使用の場合は、水質によっては故障の原因になります。

ご使用の前に

よく使う機能

上手な使い方

準備

こんなとき

お手入れと点検

ご使用の前に

よく使う機能

上手な使い方

準備

こんなとき

日常のお手入れ

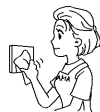
1 時刻の確認

時刻がずれていると電気料金が高くなってしまいますので、1か月に1回程度確認を行なってください。ずれている場合は、リモコンで時刻を合わせ直してください。

2 リモコンのお手入れ

表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で拭いてください。

お願い ●ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使用しないでください。変形や変色の原因になります。



1年に2~3回程度のお手入れと点検

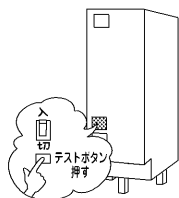
1 漏電遮断器の動作点検

漏電遮断器の点検は、電源供給中に行なってください。

- ①テストボタンを押す
電源レバーが「入」→「切」になれば正常です。
- ②必ず電源レバーを「入」に戻す

警告 漏電遮断器の動作を確認する(感電の原因)

お願い ●電源レバーが「切」にならない場合は、据付工事店(販売店)へご連絡ください。



2 逃し弁の点検

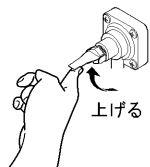
動作点検と水漏れ点検を行います。

〈動作点検〉

レバーを上げて逃し弁を開き、水(お湯)が排水口から出ることを確認します。水(お湯)が出れば正常です。

〈水漏れ点検〉

わき上げをしていないとき(リモコンに「わき上げ中」が表示されていないとき)排水口から水(お湯)が出ていないかを確認します。水(お湯)が出ていなければ正常です。水(お湯)が出ている場合は、レバーを数回、上下に動かしてください。



警告 点検時は、配管に手を触れない(やけどの原因)

注意 逃し弁の点検をする
タンクや配管が破裂してやけどの原因になります。

お願い ●逃し弁は高い位置に付いていますので、踏み台などを使用して、点検を行なってください。(点検時は、転倒しないよう注意してください。)
●動作点検、水漏れ点検を行って正常ではない場合は、給水配管専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店(販売店)へご連絡ください。

ご使用の前に

よく使う機能

上手な使い方

準備

こんなとき

3 配管の点検

配管の保温材破損や水漏れがないか点検します。水漏れが生じている場合は、据付工事店(販売店)にご連絡ください。特に冬期に入る前には、必ず保温材のチェックを行います。破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。

注意 配管を点検をする
マンションなど、中・高層住宅では水漏れが起きた場合、下層階に被害を及ぼすことがあります。

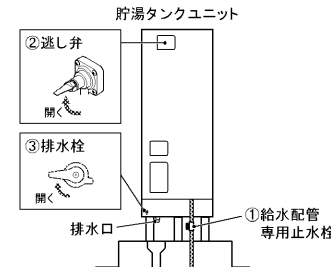
お願い ●本体や周辺配管などから水漏れが生じた場合は、給水配管専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店(販売店)へご連絡ください。

4 貯湯タンクのお手入れ

- ①給水配管専用止水栓を閉じる
- ②逃し弁を開く
- ③排水栓を約1~2分間開く
タンクの下部にたまった汚れを排水します。排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。
- ④汚れがなくなったら排水栓を閉じる
汚れが多い場合は、数回繰り返します。
- ⑤給水配管専用止水栓を開く
- ⑥排水口から勢いよく水が出たら、逃し弁を閉じる

警告 排水時はお湯に手を触れない(やけどの原因)

お願い ●わき上げ中(リモコンに「わき上げ中」が表示されているとき)は行わないでください。
●タンクのお手入れを行うときは、同時に排水管(溝)のゴミつまりなども点検してください。ゴミなどで排水が流れにくい場合は、水漏れ事故防止のため据付工事店(販売店)へご連絡ください。(有償)



わき上げ中の表示



故障かな？

症状	原因	処置
リモコンの表示部が点灯しない (電源が入らない)	200V電源ブレーカーが「切」になっている	「切」になっている場合は、「入」にしてください。
	漏電遮断器の電源レバーが「切」になっている	「切」になっている場合は、「入」にしてください。再度「切」になる場合は、そのまま据付工事店(販売店)へご連絡ください。
お湯が出ない お湯の出が悪い	給水配管専用止水栓が閉じている	閉じていれば開いてください。
	断水している(蛇口から水がでますか?)	断水が終わるまで待ってください。
	配管が凍結している	凍結していた場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください。
お湯がわかない お湯が足りない	「深夜のみモード」で使用している	「通常モード」に設定してください。P14
	時刻が設定されていない(リモコンの時刻表示部が点滅している)	時刻を設定してください。P18
	リモコンの停止日数が表示されている	停止日数を解除し、満タンわき増しを利用してください。(停止日数の解除 P15; 満タンわき増し P8)
	200V電源ブレーカーが「切」になっている	「切」になっている場合は、「入」にしてください。
	漏電遮断器の電源レバーが「切」になっている	「切」になっている場合は、「入」にしてください。再度「切」になる場合は、そのまま据付工事店(販売店)へご連絡ください。
	わき上げ湯温が低い	「少なめ」の場合は「おまかせ」または「多め」へ設定を変えてください。P13
	リモコンに「わき上げ中」が表示されていないときに、逃し弁の排水口から、お湯(水)がでている	逃し弁の点検を行ってください。P26 逃し弁が正常でもお湯(水)が出ている場合は、減圧弁の故障が考えられますので据付工事店(販売店)へご連絡ください。
	リモコンに「わき上げ中」が表示されているときに、お湯をたくさん使用した(特に夜間時間帯)	満タンわき増しを利用してください。P8
	いつもに比べてお湯をたくさん使用した	満タンわき増しを利用してください。翌日の使用湯量が多くなると予測できる場合は、あらかじめわき上げ湯温の設定を上げてください。
排水口からお湯(水)が出ている	リモコンに「わき上げ中」の表示がないときは、逃し弁、減圧弁または缶体保護弁等の故障です。	逃し弁の点検を行ってください。P26 逃し弁が正常でもお湯(水)が出ている場合は、減圧弁や缶体保護弁の故障が考えられますので据付工事店(販売店)へご連絡ください。
	リモコンに「わき上げ中」が表示されている	わき上げ中は体積が増えた分のお湯が、少しずつ排水されます。正常動作です。
浴槽や洗面器等に青い線がつく	湯あかと銅配管等から溶出した銅イオンが反応して不溶性の青い銅石けんが付着したものです。	台所用の油污れ専用の洗剤をスポンジにつけてこすれば除去できます。こまめな清掃により湯あかがつかないようにすれば防止できます。

こんなときは故障ではありません

だいたいぶかな?	故障ではありません
貯湯タンクユニットの排水口からお湯(水)や湯気が出ている	わき上げ中は、水がお湯になるときに体積が増える分のお湯が少しずつ排水されます。正常動作です。ただし、リモコンに「わき上げ中」の表示がないときは弁類の故障が考えられます。
ヒートポンプユニットが運転/停止を繰り返す	気温が低いときは、熱交換器の除霜のためファンの運転/停止を繰り返します。
わき上げ運転中、ヒートポンプユニットのドレン口から水が出ている	運転中はフィンが結露し、ドレン口から少量(温度や湿度により変化します。)の水が出ることがありますが故障ではありません。

だいたいぶかな?	故障ではありません
昼間にヒートポンプユニットが動く	今までの使用湯量を考慮して、必要に応じ、わき増し運転をしています。
運転モードを「深夜のみ」に設定していても昼間にヒートポンプユニットが動く	外気温が低下すると、凍結防止のための運転を行うことがあります。
運転停止を設定していてもヒートポンプユニットが動く	給水水温が高い場合や残湯量が多い場合は、夜間時間帯になってもすぐにわき上げを行いません。夜間時間帯が終了する時刻に合わせてわき上げを完了させます。(ピークシフト機能)
夜間時間帯になっても、すぐにわき上げを行わない(ヒートポンプユニットが動いていない)	冬期運転中は蒸発器のフィンに霜がつくことがあります。
わき上げ運転中、ヒートポンプユニットの背面が霜で白くなる	タンク内が既にわき上がっている場合は、わき上げを行いません。「満タンわき増し」を設定すると、タンク内のお湯が50L以上沸騰したとき自動的にわき上げを開始します。
満タンスイッチを押しても、わき上げを開始しない	以下のことを行うとタンク内の湯温がわき上げ温度まで上がらない場合があります。配管からの放熱や外気温度が低い場合も同様です。 ①台所リモコンに「わき上げ中」が表示されているときにお湯を使用した場合 ②わき上げモードの設定をかえた場合「少なめ」→「多め」または「おまかせ」→「多め」 ③給水水温が低く、残湯量が少ない場合・給水水温...℃以下・残湯量...20L未満 ④外気温度が低い場合 機器の保護のため、外気温度がマイナス10℃以下になると、わき上げ温度を自動的に約65℃に調整します。(リモコンでのわき上げ温度設定に関係なく低く調整します。)
設定したわき上げ温度までわき上がらない	自然放熱などで、タンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても表示が変わることがあります。
お湯を使っていないのに残湯量表示が消える	時刻を合わせ直してください。
リモコンの時刻表示が「00:00」で点滅する	光の波長の関係や浴槽の色などによって浴槽の水が青く見えることがあります。また、配管(銅配管)から溶出したわずかな銅イオンによって浴槽や洗面部材などが青くなる場合がありますが異常ではありません。
浴槽の水が青く見える	水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。
お湯が白く濁って見える	初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。臭いが気になる場合はの手順によりタンク内の湯を入れかえてください。
お湯から油がでる、お湯が臭い	

リモコンにユーザーメッセージまたはエラーが表示された場合の処置

	表示	原因(症状)	処置
ユーザーメッセージ	U00	給湯機の給水口にお湯が供給されています。	給湯機の給水口に水を供給してください。ソーラー温水器や給湯機が接続されている時は据付工事店(販売店)または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。
		給水配管専用止水栓が閉じているときに湯側の蛇口を開きました。	給水配管専用止水栓を開いてから、湯側の蛇口を開いてください。
		断水時や配管が凍結しているときに湯側の蛇口を開きました。	断水時は断水が終わるまで待ち、湯側の蛇口を開いてください。凍結しているときは、給水配管専用止水栓を閉じて、据付工事店(販売店)または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。
エラー	H03	給湯機とリモコンが正しい組み合わせではありません。	据付工事店(販売店)へ連絡し、正しい組み合わせのものとの交換してください。
	H11	貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットが正しい組み合わせではありません。	据付工事店へ連絡し、正しい組み合わせのものとの交換してください。(わき上げは行います。)
	その他の表示 (E05) など	給湯機の点検が必要です。	200V電源ブレーカーと本体の漏電遮断器の電源レバーを「切」にし、給水配管専用止水栓を閉じてから、据付工事店(販売店)または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。

上記にしたがって処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「三菱電機 修理窓口(P31)」へご相談ください。

「使用前に

よく使う機能

上手な使い方

準備

こんなとき

「使用前に

よく使う機能

上手な使い方

準備

こんなとき

アフターサービス

保証書(添付)

- 保証書は、必ず「お買上げ日、据付工事店名(販売店名)」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。(取扱説明書、据付工事説明書なども保証書と一緒に保管してください。)
- 据付工事説明書(別添付)で指定されていない別売品を用いて使用した場合、故障が生じたときには責任を負いかねます。

保証期間…お買上げ日から2年間です。ただし、熱交換器・コンプレッサーは3年間、タンクは5年間です。

補修用性能部品の保有期間

- この製品の補修用性能部品を製造打ち切り後10年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店がお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」(右一覧表)へご相談ください。

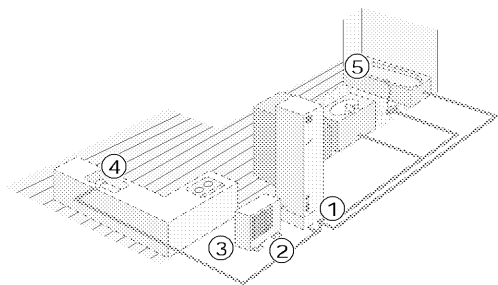
修理を依頼されるときは

- 「故障かな?」(P28)にしたがってお調べください。なお不具合がある場合は、電源を「切」にしてから、据付工事店(販売店)にご連絡ください。
- 保証期間中は修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって据付工事店(販売店)が修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

- 修理料金は技術料+部品代(十出張料)などで構成されています。
- ご連絡いただきたい内容

- 品名 三菱 自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯機
 - 形名 貯湯タンクユニットの前面パネルに表示してあります。(P6)
- (例) エスアールシー エイチピーシー 13
SRT-HPT37N1
- お買上げ日 年月日
 - 故障の状況 できるだけ具体的に
 - お名前・ご住所(付近の目印なども)・電話番号・訪問希望日

こんなときは
故障では
ありません



- | | |
|---|---|
| ① 排水口からお湯(水)や湯気が出る | → わき上げ中は、お湯が少しずつ排水されます。 |
| ② 「深夜のみ(運転モード)」、「停止日数」を設定していてもヒートポンプユニットが動く | → 外気温度が低下すると、凍結防止や除霜のための運転を行うことがあります。 |
| ③ ヒートポンプユニットから水が出ている | → 運転中はドレン口から少量の水が出る場合があります。 |
| ④ お湯の温度がリモコンで設定した湯温よりも低い | → 配管の放熱によって、温度が低くなる場合があります。 |
| ⑤ 浴槽の水が青く見える | → 光の波長の関係や浴槽の色などによって浴槽の水が青く見えることがあります。また、配管(銅配管)から溶出したわずかな銅イオンによって浴槽などが青くなる場合があります。 |

三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内(家電品)

修理・取扱いのご相談は
まずお買上げの販売店へ

転居や贈答品などでお買上げの販売店へ
ご連絡できない場合は

修理のお問い合わせは

その他のお問い合わせは

修理窓口へ

ご相談窓口へ

●お問合せ窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

- お問合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的並びに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
- 上記利用目的のために、お問合わせ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
- あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示する事はありません。
①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
②法令等の定める規定に基づく場合。
- 個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

修理窓口 電話受付 365日24時間

北海道・東北地区	関東・甲信越地区	九州地区
北海道全域・宮城県 東日本フロントセンター 東京都世田谷区池尻 3-10-3 フリーダイヤル ☎0120-56-8634 通常電話番号(携帯電話対応) (03) 3424-1111 ファックス (03) 3424-1115 インターネット http://www.melco.jp	東京都・神奈川県・千葉県・茨城県 埼玉県・栃木県・群馬県・山梨県 長野県(飯田地区除く)・新潟県 静岡県 東日本フロントセンター 東京都世田谷区池尻 3-10-3 フリーダイヤル ☎0120-56-8634 通常電話番号(携帯電話対応) (03) 3424-1111 ファックス (03) 3424-1115 インターネット http://www.melco.jp	福岡県・佐賀県 西日本フロントセンター 大塚市北区大塚中 1-4-13 フリーダイヤル ☎0120-56-8634 通常電話番号(携帯電話対応) (06) 6454-3901 ファックス (06) 6454-3900 インターネット http://www.melco.jp
青森 (017)773-8381 青森市大字野木字野尻 37-184 八戸 (0178)28-8544 八戸市大字長苗代字下免子谷地 6-8 盛岡 (019)637-7454 盛岡市羽場13地割 30-11 水沢 (0197)25-4511 奥州市水沢区前町 2-3 秋田 (018)865-4471 秋田市八橋三和町 19-36 横手 (0182)32-1785 横手市御町 3-2	大館 (0186)42-2781 大館市餅田 2-5-44 山形 (023)624-0018 山形市大野目 2-1-21 鶴岡 (0235)24-6161 鶴岡市上畑町 5-4 郡山 (024)959-6543 郡山市喜久田町加 1-76-1 会津 (0242)27-4426 会津若松市天草寺町 3-1 原町 (0244)24-2842 南相馬市原町区桜井町 1-173 いわき (0246)26-1822 いわき市小島町 1-7-7	長崎 (095)834-1116 長崎市丸尾町 4-4 佐世保 (0956)30-7740 佐世保市木原町 155-1 熊本 (096)380-0211 熊本市石原 1-10-35 八代 (0965)33-5173 八代市緑町 13-1 大分 (097)558-8803 大分市向原西 1-8-1
関西・東海・北陸・中国・四国地区 大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県 京都府・滋賀県・愛知県・三重県 岐阜県・長野県(飯田地区) 石川県・富山県・福井県・広島県 山口県・鳥根県・鳥取県・岡山県 香川県・徳島県・高知県・愛媛県 西日本フロントセンター 大塚市北区大塚中 1-4-13 フリーダイヤル ☎0120-56-8634 通常電話番号(携帯電話対応) (06) 6454-3901 ファックス (06) 6454-3900 インターネット http://www.melco.jp		
宮崎 (0985)56-4900 宮崎市大字赤江字飛江田 150-1 延岡 (0982)21-3540 延岡市惣領町 25-5 鹿児島 (099)260-2421 鹿児島市御本町 7-17 沖縄 (098)898-3333 宜野湾市大山 7-12-1		

ご相談窓口

当社家電品の購入・取扱い方法・その他ご不明な点は

三菱電機お客さま相談センター

〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3

受付時間 365日 24時間

※全国どこからでもおかけいただけるフリーコール
☎ 0120-139-365 (無料)

※通常電話番号(携帯電話対応) 03-3414-9655
※ファックス 03-3413-4049

※ご相談対応 平日 9:00~19:00
土・日・祝 9:00~17:00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

※所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

使用前に

よく使う機能

上手な使い方

準備

こんなとき

使用前に

よく使う機能

上手な使い方

準備

こんなとき

困ったときは

8 たくさん
お湯を使う

9 お湯が少なく
なったとき

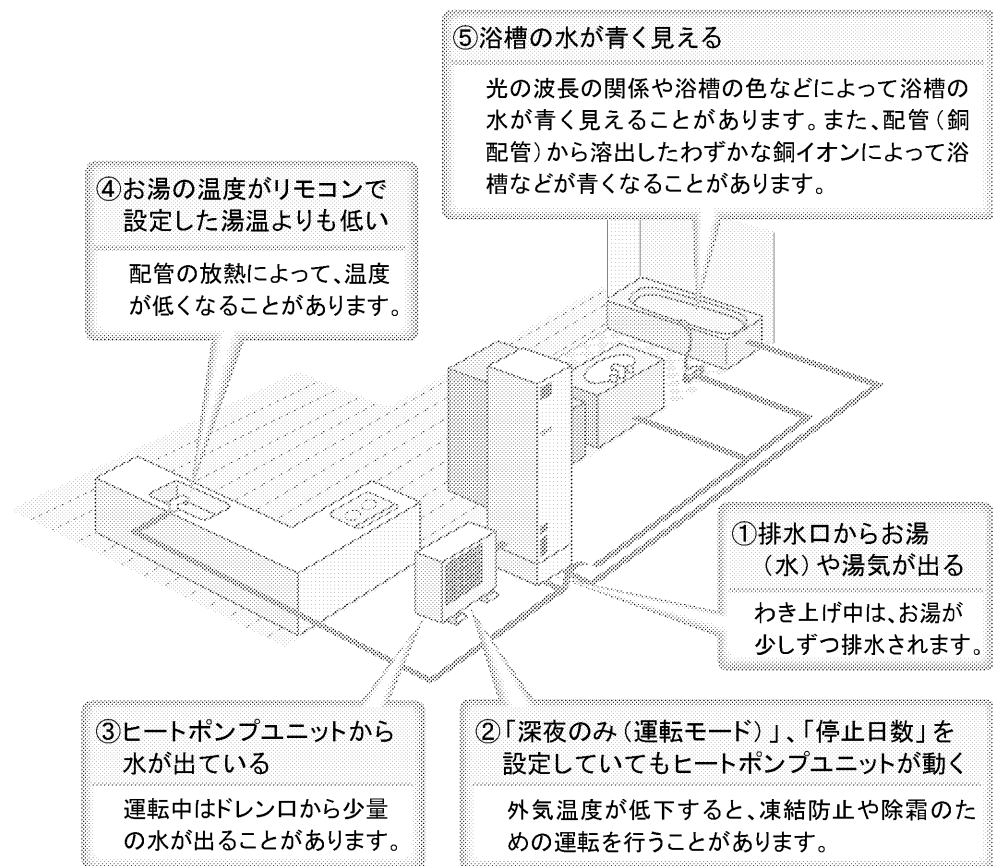
18 時刻を合わせる

21 災害などによる断水

28 故障かな?

30 アフターサービス

よくあるご質問



製品形名(製造番号)	SRT- < >	据付工事店(販売店)の店名・住所・電話番号
リモコン形名	RMC-	
お買上げ日	年 月 日	

点検・修理時の覚え書きとしてご使用ください。

愛情点検 	★長年ご使用の給湯機の点検を! ●この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後10年です。	
	こんな症状はありませんか <ul style="list-style-type: none"> ●水が漏れている ●時々漏電遮断器がはたらく。 ●その他の異常や故障がある。 	ご使用中止 故障や事故防止のため、電源ブレーカー及び本体の漏電遮断器を切り、給水配管専用止水栓を閉じてから、据付工事店に点検・修理(有料)をご相談ください。

三菱電機株式会社

群馬製作所 〒370-0492 群馬県太田市岩松町800
電話番号 0276-52-1111 (代表)

この取扱説明書は再生紙を使用しました。